

とみおかまち



福島県
富岡町

支援員だより

vol.06

[発行日]
2017年12月1日

今年一年ありがとうございました。来年もどうぞよろしく願い申し上げます。

発行 富岡町県外避難者支援拠点事務所 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-21 一般社団法人 埼玉県労働者福祉協議会 内

TEL 048-832-0600

FAX 048-833-8746

MAIL ftomioka3@yahoo.co.jp



2017年4月7日～4月8日

富岡町復興の集い and 那須の森ビール園

4月7日～8日、東京・埼玉よりバスを運行、たくさんの皆様にご参加いただきました。

那須の森ビール園にて参加者交流会を開催。おいしいバーベキューに舌鼓を打ち、宿泊は楳葉天神岬温泉・しおかぜ荘。ゆったり温泉につかり、旅の疲れを癒しました。

2日目は「富岡町復興の集い2017」に参加。たくさんの楽しいイベント、そして懐かしい人たちとの出会い…心に残る二日間でした。



皆さん
お元気です!



毎回、富岡町ご出身の皆さまの近況をお伝えるコーナーです。皆さま地域に馴染んで、楽しく暮らしていらっしゃいます。



去る8月23日、第三回目の屋形船の集いを開催いたしました。

特別ゲストの「とみっぴー」も参加。天気にも恵まれ隅田川の夜景を堪能。料理は揚げたての江戸前天ぷら、新鮮な刺身…おなかも心も満たされたひとときでした。



こんにちは★富岡町復興支援員です!

新任支援員紹介

県外避難者拠点事務所に新たに1人の支援員が加わり、6名体制となりました



皆様の笑顔にお会いできることを楽しみにしています

なかの ゆうこ
中野 祐子

富岡町の復興支援員に加えて頂く事になりました中野祐子です。

南相馬市で生まれ育ち、現在は越谷市に居住しております。

県外に避難されている町民の皆様の笑顔にお会いできることを楽しみにしていますので、よろしくお願い致します。

「避難者の会」呼びかけ

＼集おう富岡町民！／

宮城県に居住・避難されております皆様、いかがお過ごしですか。

先日(9/30)開催された「仙台サロン」の際、参加者の中から「富岡町民同士で時折、親睦を図りたい」との声が上がり、『富岡町避難者の会』(仮称)を立上げ、私が呼び掛け人代表に選ばれました。

本趣旨に、賛同・興味のある方は、下記あてにご連絡下さいませよう、よろしく申し上げます。

坂本 一成 Tel 090-8927-7283



＼会員募集中！／

茨城県南西部に居住・避難されております皆様、いかがお過ごしですか。

私共、今春富岡町民による親睦団体「つくばさくら会」を立上げ、時折会員同士顔を合わせ、レクリエーション等を行っております。最近ではソーセージ作り、食事会等を実施し、親睦を深めております。

常時会員を募集しておりますので、本会に興味・関心のある方は、下記あてにご連絡下さいませよう、よろしく申し上げます。

つくばさくら会会長 関根 稔 Tel 090-7281-4059

同 副会長 新妻 義郎 Tel 090-7060-6818



平成29年度 上半期訪問実績 (4月～9月)



県外におられる避難者様宅を戸別訪問しております。今期にて、ほぼ全国をカバーすることができました。皆様のご協力に感謝いたします。皆様笑顔に出会えたこと…支援員一同の糧となっております。今後も地道に訪問活動をさせていただきますようお願いしております。

	訪問戸数	面談戸数	在宅率	訪問地域(戸数)
4月	43戸	16戸	37%	東京都(11) 茨城県(32)
5月	55戸	17戸	31%	東京都(31) 茨城県(19) 岩手県(5)
6月	71戸	23戸	32%	東京都(55) 茨城県(9) 秋田県(7)
7月	48戸	15戸	31%	東京都(19) 茨城県(29)
8月	37戸	13戸	35%	茨城県(31) 山陽・四国(6)
9月	53戸	24戸	45%	茨城県(47) 北陸(6)

編集後記

復興支援員が拠点事務所にしてのさいたま市の「彩の国さいたま芸術劇場」で、現在の富岡町を舞台とした創作劇「薄い桃色のかたまり」を、先日支援員皆で鑑賞しました。作・演出の岩松了氏は、今年の「富岡町復興の集い」を見に来たそうです。

故鯉川幸雄氏が11年前、高齢者に呼びかけ結成した平均年齢78歳の団員と、若手演劇集団の合作でした。最高齢者91歳を筆頭に80歳以上15人の方、前歴は様々ですが、明瞭な発声、伸びきった背筋、キビキビした動作は稽古の

賜物でしょう。

モチーフは、凶暴化した猪、流された駅、鉄道の復興あたりだと思います。ラストシーン、列車の通過音をBGMに桜並木を歩く主人公、そして舞台上に舞う桜吹雪には万雷の拍手が沸き起こりました。来年の復興の集いの呼び水になれば……

